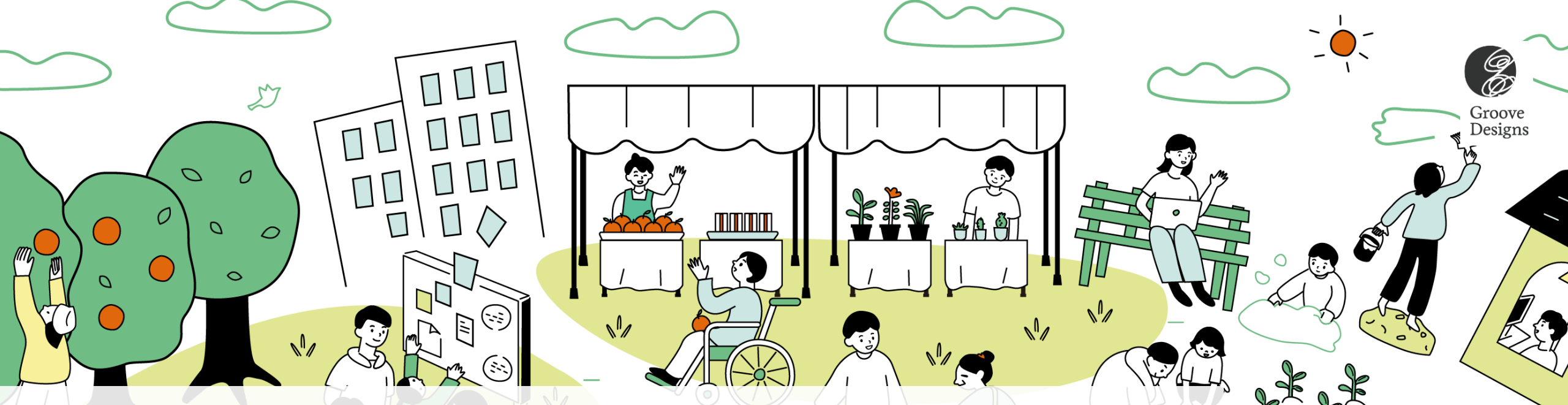




Groove  
Designs



# デジタルプラットフォームを活用した人とまちのデザイン ～市民参加型スマートシティを目指して～

株式会社 Groove Designs  
代表取締役 三谷 繭子



三谷 繭子 Mayuko Mitani



株式会社Groove Designs  
代表取締役

認定NPO日本都市計画家協会理事  
一般社団法人アーバニスト 理事

Mission

人とまちの関係性をデザインする



地域まちづくり支援×行政DXの推進

都市計画コンサルタント

土地区画整理事業等の  
基盤整備事業推進

エリア/パークマネジメント等、  
市民協働推進

Groove Designs創業

既成市街地(まちなか)再生  
地域主体の  
公共空間活用・  
プレイスメイキング支援

まちづくりの  
共創デジタル  
プラットフォームA開発

市民参加・共創まちづくり  
のスマート化

「このまち意外といいじゃん」



公共空間を人の居場所に還す。  
まちのなかに居られる空間づくり

「やりたい遊びを実現できる  
ぼくたちの広場をつくりたい！」



まちの場づくりに市民が関わる  
プロセスづくり

「まちの文化や地域性をわかりやすく  
おもしろく若い世代につなぎたい」



地域のアイデンティティ継承のための  
コミュニケーションツール開発

「自分たちのやりたいことを実現する  
ために公園運営にも関わりたい！」



公共空間と市民の関わりアップデート

「自分たちのまちって  
こんなにオリジナリティにあふれてるんだ」

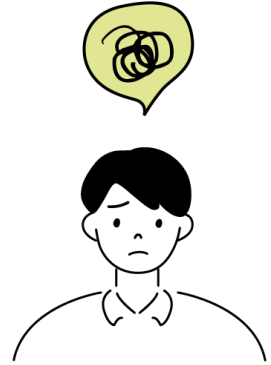


まちのイメージ投影と愛情の再認知

デジタルを活用しながら、  
市民中心で持続可能な課題解決を行うことで  
「市民一人ひとりが幸せを実感しながら  
住み続けられるまち三田」を目指します。

(さんだ里山スマートシティ構想 “ミッション”より)

## スマートシティを目指す中で、市民は置き去りにになっていないか？



「まち」がますます「自分ごと」ではなくなっていく

スマートシティは行政と企業がやっていること。  
よくわからないし自分とは関係ない。  
課題は行政や企業が解決してくれるんでしょ？



デジタル活用によって楽しくなる/暮らしが便利になる実感  
様々なことが可視化・共有され、参加できる・仲間が増える



つながりが生まれ、変化を実感。市民がエンパワーメントされていく

自分のまちにもこんなに面白い人や活動があるんだ。  
参加して楽しいし、自分もなにか地域の課題解決に役立てるかも！

## ■ 「まちづくり」とは？

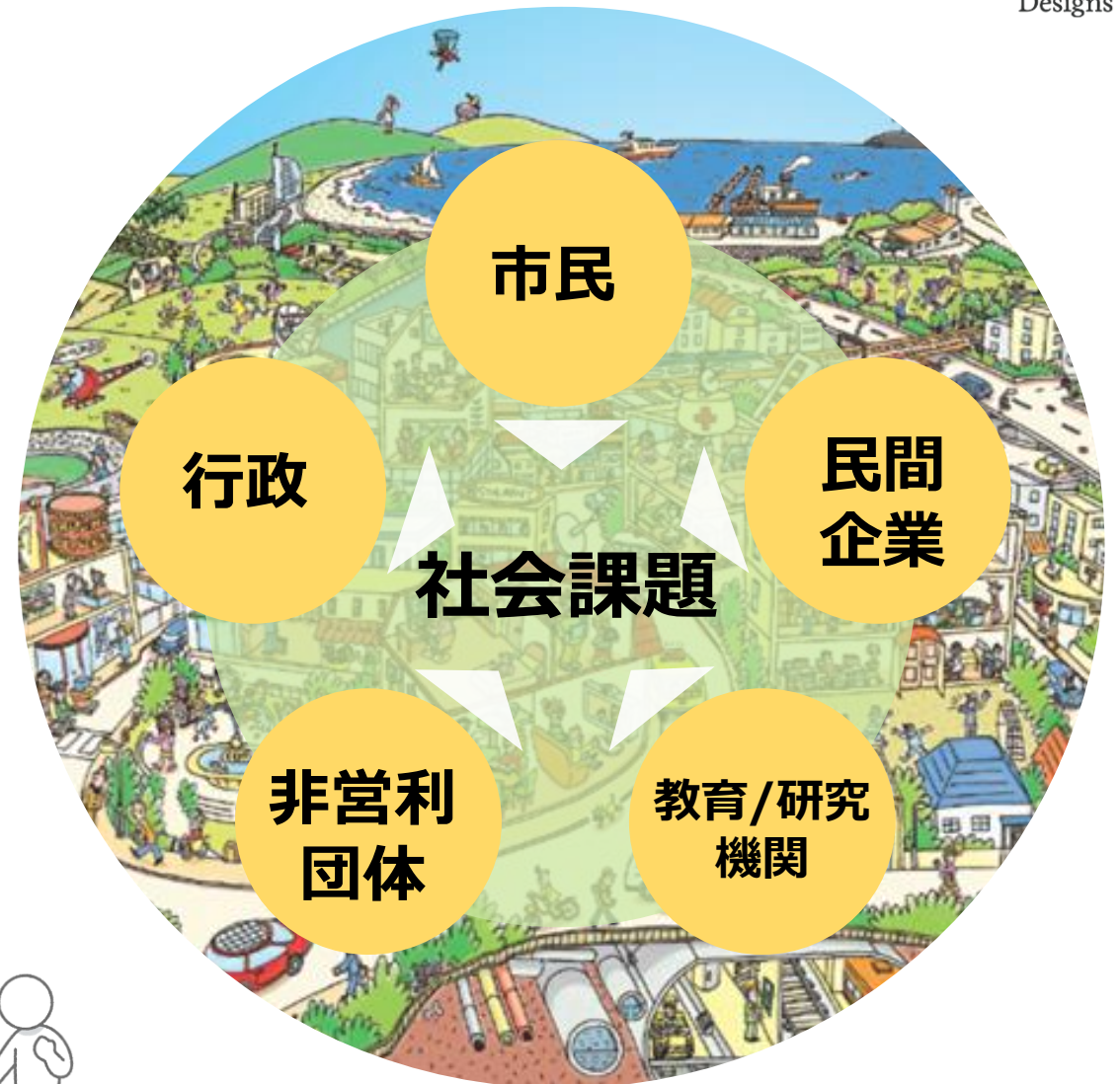
- 高度経済成長期、公害や生活環境の変化など、厳しい都市問題が増え、住民自らが声を上げ、実践活動に動き出した際に生まれた言葉。
- 「身近な居住環境を改善」し、「地域の魅力や活力を高める」ということ。そのまち(地域)に暮らし続けるために行う人の営みそのものであり、地域の人々が身近な居住環境に対して働きかける持続的な活動をすること

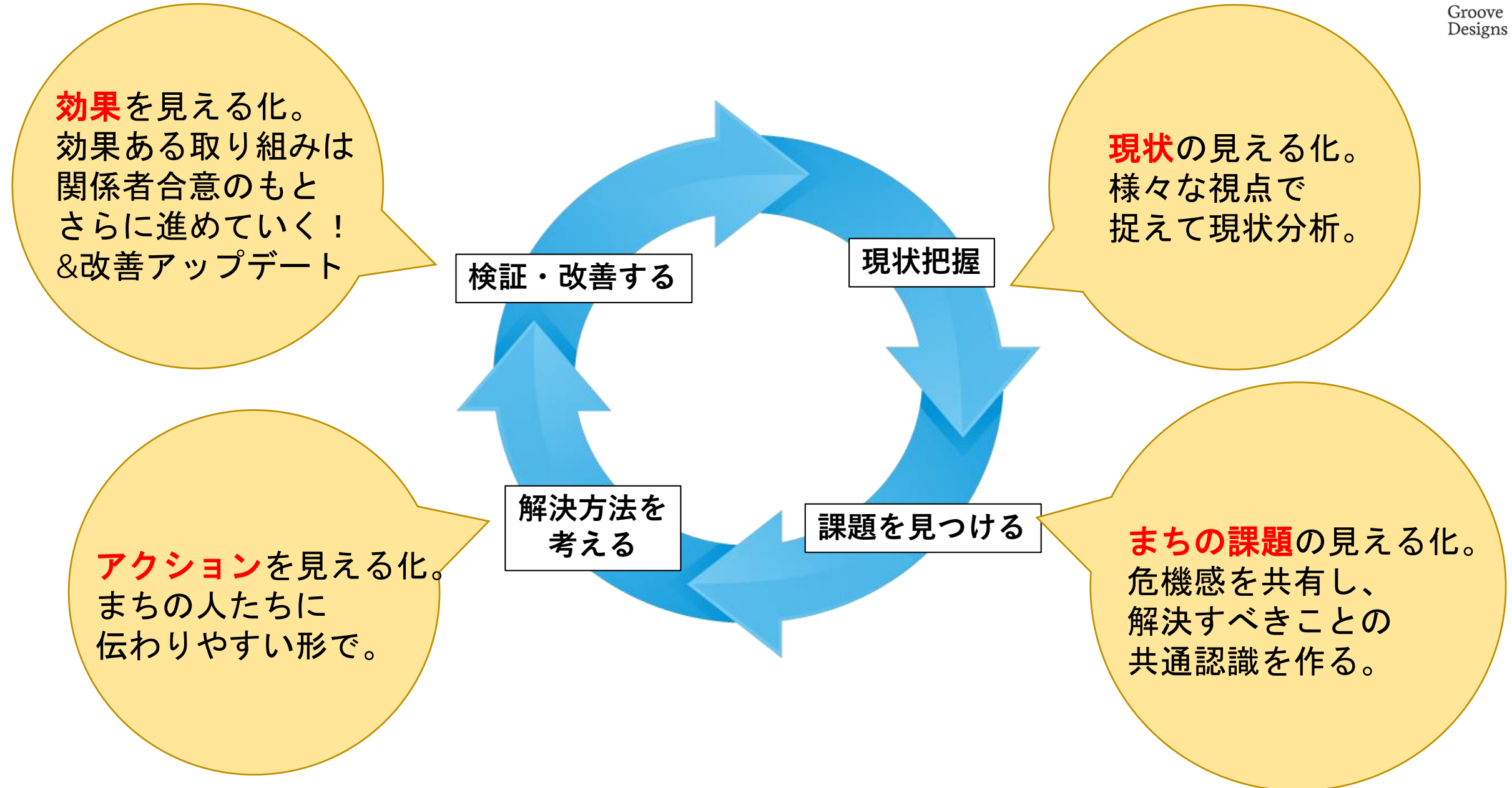
## ■ 多様な人々とともに取り組むために

行政/企業/市民が  
単独では課題を  
解決できない時代



垣根を越えて  
連携・協力すれば  
解決できる





# 事例紹介：共創まちづくりのデジタルプラットフォーム「my groove」



Groove  
Designs

まちに暮らす人々のアクションと  
コラボレーションを支援し、  
コミュニティエンゲージメントを促進する。



※コミュニティエンゲージメントとは？

市民、NPO、企業など様々な地域のステークホルダーが、地域における政策検討、計画、決定、サービス提供、評価へ自分たちの関心、ニーズ、価値観を反映させながら、自分たちも主体となって貢献していくプロセス。



▲長野県小諸市での実証実験サイト画面



### 自治体

(または公益事業を行うまちづくり団体等)

- 財源、人員などのリソース不足により、行政単独では地域課題を解決できない。
- 地域の担い手によるボトムアップでのまちづくり、官民連携プロジェクト創出の必要性。
- 参加する市民が固定的・限定的になり、多様な人の声を反映できていない。



地域の担い手を増やすため、市民との新たなコミュニケーション・情報発信の方法が必要

### 市民

(または地元企業・団体等)

- WSや協議の場を開いても参加者が少ない/一部属性に限定される。
- 地域へ関わっていく意欲があっても、誰にどうアクセスするかという、関わり方がわからない。
- 行政が提供する参加の場は、忙しくライフスタイルが多様化している若い世代には参加しづらい。



地域のまちづくりに参加するきっかけ、情報を得たり関わるための新しい方法が必要



デジタルとリアルを行き来しながら  
各プレイヤーをつなぐハブとなる  
デジタルプラットフォームの可能性



# 課題を解決していくために

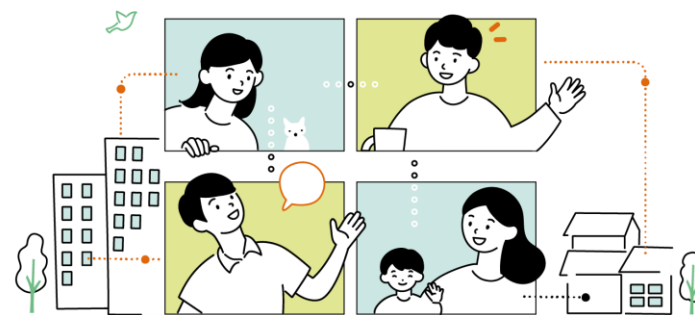
まちづくりのDXで変えていける可能性

わかりやすく  
プロセスが共有されれば  
途中からでも  
参加できる

地域において  
ともに取り組む人が  
育ち、増えていく。

若い世代を中心に  
多様な世代が参加し、  
声を反映することが  
できる。

取り組み自体の  
認知が広がり、  
地域内外で知って  
もらえる。



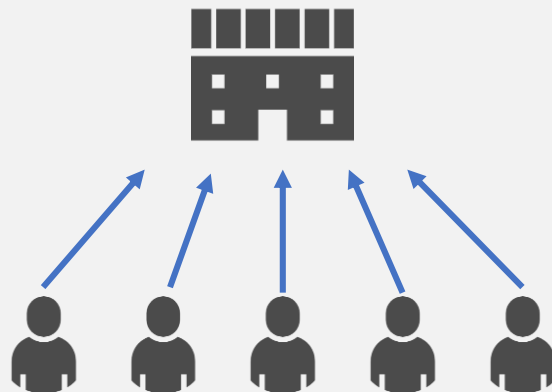
テクノロジーを活用し、  
多様な市民の地域への参加を後押しする。

まちづくりの現場で取り組んできた実感としては、  
デジタルツール上だけで合意形成を完結することは現状では困難・・・



取り組むアプローチ

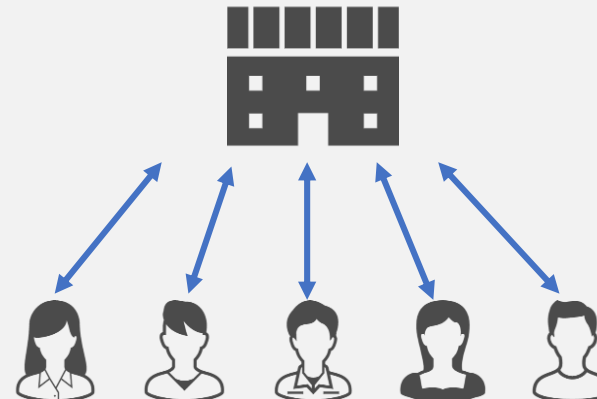
デジタルを使って実行/連携の意思ある主体同士のパートナーシップを形成。  
目指したいのはパートナーシップで暮らしの課題解決に取り組む  
「実行の仕組みのDX」



多数の主体からの  
意見収集

- 行政が主要な役割を担い、リーダーシップをもって押し進めるべき政策向き。

+



実行/連携意思のある主体との  
パートナーシップ形成

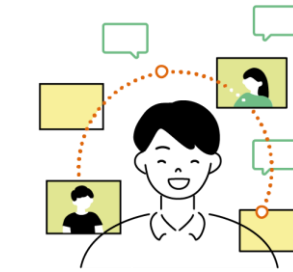
- 官民連携が重要なプロジェクト向き。

パートナーシップと  
エンゲージメントを  
高めていくためのツール  
としてのデジタル活用

テクノロジーを活用し、人々が時間や場所の制限を受けず「できる時に、できる形で」取組みに参加したり、活動している人を応援したりできる仕組みとプロセスをつくる。

自分も  
活動してみたい！

自分も参加・  
関わってみたい！



投稿ユーザー

オンラインで  
意見・活動参加

my groove  
(共創プラットフォーム)

情報公開  
情報発信

まちの活動を  
知る

運営団体・  
設置自治体等

閲覧ユーザー



# 導入事例(神奈川県真鶴町) 真鶴町「みんなでつくる身近な公園」プロジェクトでの実証

町民・関係人口による提案型事業での公園づくりプロジェクト。  
提案団体同士や、行政と住民の情報共有、プロセスの可視化、双方向コミュニケーションのため試験導入。

## 【真鶴町のホームページ】

### ● 「みんなでつくる身近な公園」、始めました！

真鶴暮らしが楽しくなる「身近な公園づくり」を、下記の方針を大切にしながら町民の皆さんと一緒に  
つくっていきます。

コロナ禍によりオープンスペースのあり方や活用も見直されている今、子どもにとって楽しい公園、高  
齢者が集い交流できたり、大人が一人で憩える公園など、様々な視点から考えていきます。

### ● 方針1ゼロベースで考える

町民の皆さんからの様々なご意見をいただくことから始め、ゼロから、現状を把握したり必要な対策を  
一緒に考えていきます。

### ● 方針2オープンデータで進めていく

いただいた意見を整理しきちんと公開します。課題や可能性等の情報を共有することで、みんなで知恵  
を出し合いながら、できることを探していきます。

### ● 方針3できることから着手する

「試行する」「チャレンジする」ことを重視し、「できること」から着手していきます。また、実施した  
対策は、さらに継続発展させていくか、改善するか、終了するか検証していきます。

### ● 公園に関するデータを公開します！

このページを通して、「真鶴町の公園」と「身近な公園づくり」に関する情報を公開して  
た、情報は、より良い解決策を皆で考えることができるデータとして、順次、更新・充実さ  
す。

公園に関する情報を公開することで、課題と可能性を共有し、一緒に知恵を出し合いなが  
ら「こと探し」による具体的な解決策を実行していきましょう。

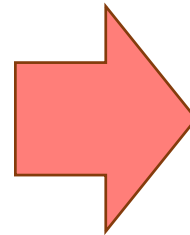
### ● 情報1 真鶴町の公園

真鶴町内にある公園に関する情報を下記よりご参照いただけます。

 [真鶴町の公園](#) (PDFファイル: 5.2MB)

 [真鶴町の遊具のある公園MAP](#) (PDFファイル: 540.3KB)

## 【デジタルプラットフォーム】



① デジタルプラットフォームによる  
特設サイトを使って「みんなで  
つくる身近な公園」プロジェクトの  
動きを視覚的にわかりやすく伝え  
る。

② オンラインでも町民や多様な人が  
参加ができる状況をつくる。

## オフライン での活動



1

現状への意見

2021/03/20 - 2021/04/10

公園活用提案の  
募集・採択



2

提案募集

2021/08/10 - 2021/09/06



提案活動の実施

3

提案実行

2021/11/01 - 2022/03/20



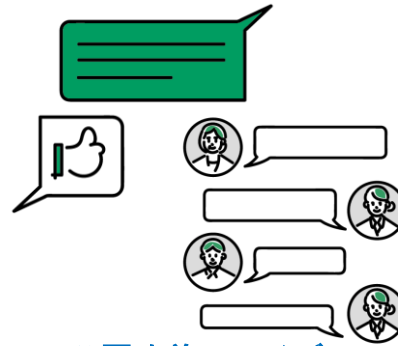
4

実施報告

2022/03/21 - ?

## オンライン での参加

PI全体像やプロセスを  
理解できる



公園改善のアイデア  
書き込み

状況を知る・  
コメントする



オンラインで  
気軽に話せる

## 特設サイトの役割

- (1) 情報・プロセスを共有するプラットフォーム
- (2) 多様な主体による双方向コミュニケーションの場



## ①プロジェクト情報・進捗をわかりやすく見える化

### 真鶴町ホームページ

#### 📍「みんなでつくる身近な公園」、始めました！

真鶴暮らしが楽しくなる「身近な公園づくり」を、下記の方針を大切にしながら町民の皆さんと一緒につくっていきます。

コロナ禍によりオープンスペースのあり方や活用も見直されている今、子どもにとって楽しい公園、高齢者が集い交流できたり、大人が一人で憩える公園など、様々な視点から考えていきます。

#### 📍方針1ゼロベースで考える

町民の皆さんからの様々なご意見をいただくことから始め、ゼロから、現状を把握したり必要な対策を一緒に考えていきます。

#### 📍方針2オープンデータで進めていく

いただいた意見を整理しきちんと公開します。課題や可能性等の情報を共有することで、みんなで知恵を出し合いながら、できることを探していきます。

#### 📍方針3できることから着手する

「試行する」「チャレンジする」ことを重視し、「できること」から着手していきます。また、実施した対策は、さらに継続発展させていくか、改善するか、終了するか検証していきます。

#### 📍公園に関するデータを公開します！

このページを通して、「真鶴町の公園」と「身近な公園づくり」に関する情報を公開していきます。また、情報は、より良い解決策を皆で考えることができるデータとして、順次、更新・充実させていきます。

公園に関する情報を公開することで、課題と可能性を共有し、一緒に知恵を出し合いながら、「できること探し」による具体的な解決策を実行していきましょう。

#### 📍情報1 真鶴町の公園

真鶴町内にある公園に関する情報を下記よりご参照いただけます。

 [真鶴町の公園 \(PDFファイル: 5.2MB\)](#)

 [真鶴町の遊具のある公園MAP \(PDFファイル: 540.3KB\)](#)

### my grooveによる特設サイト



#### 真鶴町「みんなでつくる身近な公園」プロジェクトって？

真鶴の暮らしが楽しくなる「身近な公園づくり」を、町民の皆さんと一緒に行うプロジェクトです。町内にある公園の使い勝手をもっとよくなることで、暮らしやすさを向上していくことを目指します。コロナ禍によりオープンスペースのあり方や活用も見直されている今、子どもにとって楽しい公園、高齢者が集い交流できたり、大人が一人で憩える公園など、様々な視点から考えていきます。

[詳細はこちら](#)

#### ただいま進行中！ | 荒井城址公園の検討

2021年度は、荒井城址公園を対象に検討を進めています。現状への意見募集、今後の公園の使い方を考えるための町民活用提案などを経て、荒井城址公園のあり方を町民のみなさんと一緒に考えていきます。

[詳細を見る](#)

#### このサイトについて

このサイトの利用方法を紹介しています。初めての方はこちらをご覧ください。

[初めての方はこちら](#)

[サイトの使い方](#)

※現時点ではOSSのDecidimを活用。



## ②活動に関わる「人」を見える化

どんな人たちが関わっているか

→団体の活動者の方たちの写真や属性を、団体紹介としてサイト上に掲載

【団体紹介】

団体名：まなぶる



真鶴に住んでいる子育て世代のメンバーを中心とした有志グループ。「自然の中での遊びや体験が日常的にある暮らし」を大切にしながら、遊び場・学び場をつくっている。

団体Facebookページ

<運営メンバー>

- 森澤しおり : 写真家
- 藤井 明香 : 建築士
- 寺西 聡子 : ディスカバーブルー
- 新井 香澄 : フリーランス保育士
- 中島真奈美 : 保育士 (森のようちえん)
- 西村 梨沙 : 真鶴未来塾まちこ
- 玉田 麻里 : 真鶴未来塾まちこ
- 大宮 映衣子 : 獣医師
- 平元 定子 : 洋裁師

【団体紹介】

団体名：スタジオマナブル

海と山など自然が近い豊かな環境や、来訪者を温かく迎えてくれる地元の人やましまに魅了されたことから真鶴を気に入り、「身近な公園づくり」に参加するためにスタジオマナブルを結成。東京を拠点に建築の仕事に関わっている2人組。

メンバー：

遠藤貴弘



真鶴町へは観光として初めて訪れる機会があり、自然が近い豊かな環境や、来訪者を温かく迎えてくれる地元の方々のやさしさに魅了。真鶴を好きになる。町内にてセカンドハウスの物件を探し中、大学4年生の時に仙台にて東日本大震災を経験したのち、建設・開発系の会社で働きながら、個人の活動として有志とともに二拠点居住イベントの開催といった活動もしている。

伊原慶



どんな想いをもって取り組んでいるか

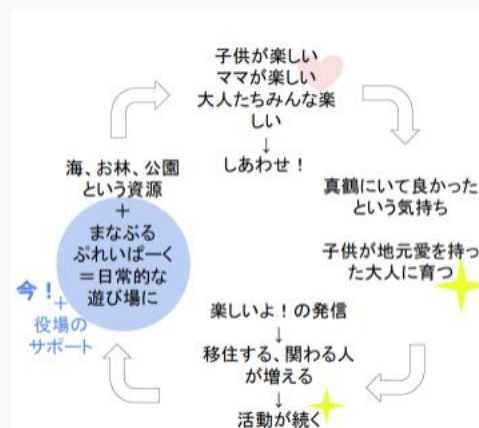
→インタビュー記事として作成・公開

【団体インタビュー/建築事業への思い】

真鶴らしい地域の遊び場と、真鶴ならではの子育てスタイルをつくりたい



暮らしと自然環境の近さ・小さな地域コミュニティでの子育ては、真鶴の魅力だと思っています。これまで私たちは、海岸沿いやお林などで子どもたちと大人が一緒に遊ぶ活動をしてきました。試しに2021年の夏に、荒井城址公園でふれいばくをやってみたところ、子どもたちがどんどん創造性を発揮して、いきいきと遊び出し、大人も刺激をもらいました。その経験から、荒井城址公園は実はとても良い場所なんじゃないかと思いました。子どもがのびのびと育ち、子育て世代が子育てしやすいだけでなく、ふれいばくをきっかけに他世代が交流できるしくみをつくることで、「真鶴が好き」という地元愛を持って、「楽しい」と発信したり関わる人が増えるといいと思っています。



## ③活動の進捗・出来事を提案団体が発信

提案団体による活動報告 →20記事近く投稿され、SNS等でページをシェア。

2021年度の公園づくり提案事業の進捗状況をこちらで発信しています！こういうことなら協力できるかも、応援しているよ、などお気軽にコメントください。公園づくりの活動を後押しする気持ちを「いいね！」で伝えることもできます。コメントは会員登録とすることで行えます。また、会員登録すると公園づくりについてのニュースレターが届きます。町外の方のご参加も可能です！

18件の投稿



3月13日に竹のベンチ、トイレの誘導サイン、公園のアクティビティマップが完成しました。

👤 ねい

3月13日に、真鶴で年度最後の作業として、公園内の竹を再利用したベンチと竹のテーブル、子供達がその日の戦略会議でできる1300のアクティビティマップを制作してきました！当日は同時にまなぶるさん...

作成日時 2022/03/30 0件のコメント 4件のいいね

投稿を見る



3/13日の小屋作りDIYワークショップにご参加頂いたみなさん、ありがとうございました！

👤 しおりん

3/13日の小屋作りDIYワークショップにご参加頂いたみなさん、ありがとうございました！お天気にも恵まれ、ワイワイ楽しい一日になりました！塗ったり、運んだり、切ったり、打ったり、小さい子供たち...

作成日時 2022/03/15 0件のコメント 7件のいいね

投稿を見る



3/6（日）身近な公園を語る会@オンライン開催しました！

👤 特設サイト事務局

3/6（日）10時より、オンラインにて「身近な公園を語る会」を開催しました。オンラインということで、町内外から今回初めて参加してくれた方も、今年度の提案事業を行っているまなぶる・スタジオオマナツル...

作成日時 2022/03/14 0件のコメント 6件のいいね

投稿を見る



3/13（日）「小屋」づくりワークショップ、完成を目指します！

👤 しおりん

みんなで小屋をつくるDIYワークショップ、いよいよ完成を目指します！大人たちは壁や扉を取り付けたり、子どもたちは木材に絵や色を塗ったり、ガーデンや旗を作ったり、飽きたらもちろん自由に遊んでもら...

作成日時 2022/03/10 0件のコメント 4件のいいね

投稿を見る

塗料をご提供いただきました！活動に使う旗にも子どもたちがペイントを☆

👤 しおりん 2022/01/31 16:03

フォローする

先週末は、まん延防止期間につき、スタッフのみで、「みんなで作る公園」プロジェクトのミーティングを兼ねて荒井城址公園に集まりました。

そして。。。ご近所にすむ塗料会社の方から、小屋のDIYで使える塗料、子どもたちが安心して絵の具のように使える塗料を、ご寄付いただきました。。。！！

本当にありがとうございます。いろんなカタチで町民の手で一掃に作り上げられる、

こんな嬉しいことはありません。

自分たちが思い描いていた「こうなったらいいな」がどんどん叶っていているような気がします。

木材と塗料を用意すると子どもたちはすごい真中力で描き始めました。



5件のいいね

ログインしなくてもいいね  
できます

いいね！

この投稿にコメントする

この投稿をシェアする

リストに戻る

3月13日に竹のベンチ、トイレの誘導サイン、公園のアクティビティマップが完成しました。

👤 ねい 2022/03/30 18:04

フォローする

3月13日に、真鶴で年度最後の作業として、公園内の竹を再利用したベンチと竹のテーブル、子供達がその日の戦略会議でできる1300のアクティビティマップを制作してきました！



当日は同時にまなぶるさんの道具小屋作りが併定されていて、

ワークショップ的に子供たちに粘土によるカウンター模型を一緒にこねてもらいました。



4件のいいね

ログインしなくてもいいね  
できます

いいね！

この投稿にコメントする

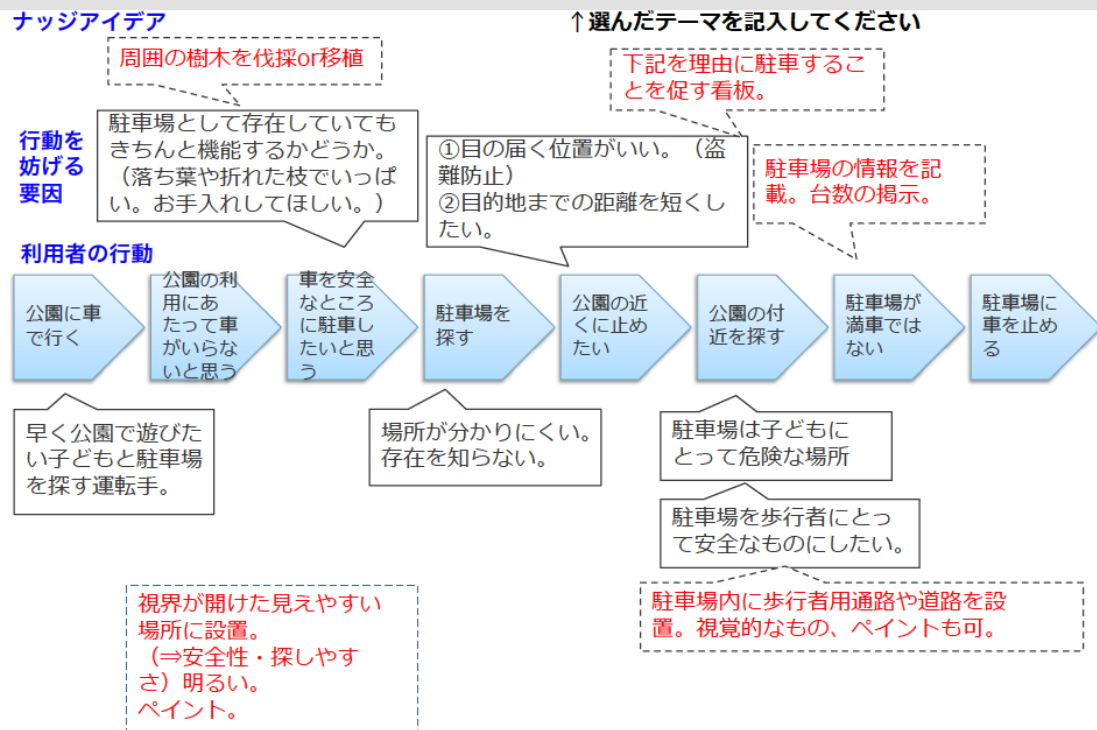
この投稿をシェアする

## ④ 関連事業（神奈川県と連携したナッジワークショップ）の 情報等の掲載

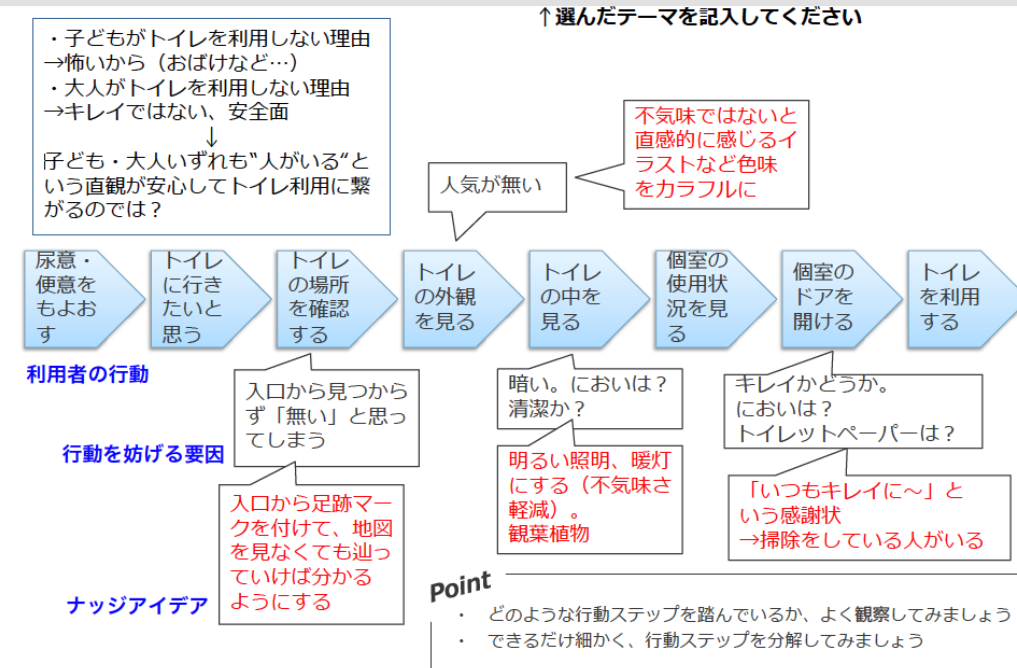
### ワークショップ参加者のアイデアシート



### ワークシート（テーマ：駐車場を使ってもらいたい）



### ワークシート（テーマ：トイレを安心して使ってもらいたい）



## ⑤「身近な公園を語る会」@オンラインの開催

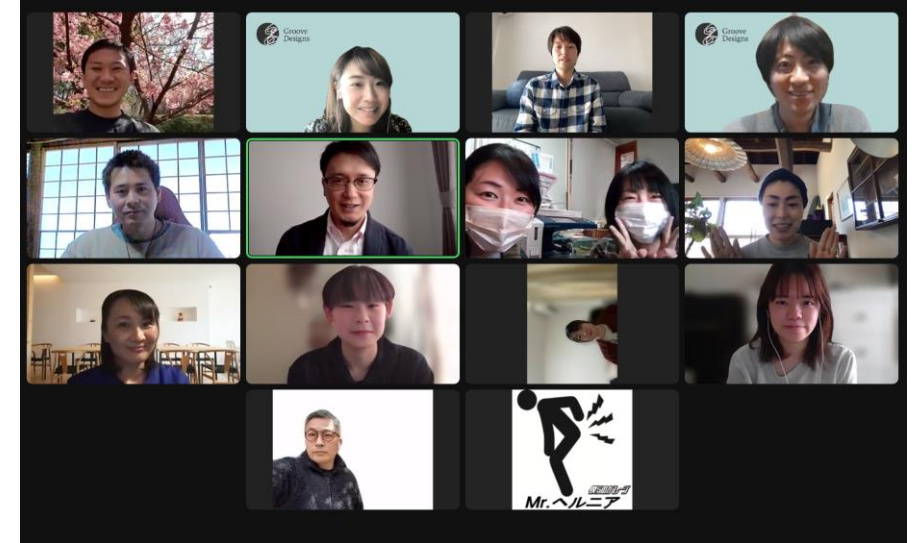
→参加者の数や関心のデータを計測・公園プロジェクトに関わる人を増やす検証のため、プロジェクトについて気軽に意見交換をする会を真鶴町と企画し、オンラインで開催。新規参加者も参加。

### 参加者の声(一部)

•公園の掃除など、手伝いをしたい人は多くいるが、誰が責任主体で勝手にやってよいのかどうか、参加するとしたらどう申し込むのか、なども分からない。

•普通こういう改善はまちの予算でまち主導で、となることが多いと思うが、やる人に手を挙げてもらって実行まで繋げているのはすごいなと思い、やっている方には尊敬。プレーパークなどイベントとして今後も開催していくと思うが、誰かが定常的にいる場になっていくと良いなと思っている。

•まち全体で取り組みが進んでいるというのに関心があった。まちに関わる人たちが団体を作って、まちの支援を受けて公園の活性化をしているというのはいいなと思った。実行まで移せているというのがなかなか他には無いということだと思う。



## ⑥公園づくりに向けたアイデアの募集

→実証実験期間中に参加の方法・参加者を増やす施策として開設。

### コメント投稿(一部)

おじいちゃん 2022/02/27 18:09

ベンチ前の植え込みをなくす。さらに可能であればトイレ広場から一直線に芝生広場に降りれる階段（DIYでもよい）をつくる。そうすることで遊具のある芝生広場とトイレ前広場を一体化する。行き来をしやすくし、視界も広がりベンチに座りながら芝生広場で子どもが遊ぶ様子も見れる。現状はトイレが少し奥まった場所にあり、遊具のある広場からも見えにくいので、垣根をなくすことで両側から目が届くようになり、ベンチのあたりまで人の往来が増えたら雰囲気も少しは明るくなるのでは。

KEI 2022/03/10 12:51

こんにちは。今トイレのサインなどに取り組んでいるものです。植え込みが死角を生んでいるので、見通しを良くする事で利便性が上がるかもしれません。また先日も作業していて気づいたのですが、この段差の部分、植え込みの足元の隙間が結構空いていて実は危ないのですよね。何か改善していけるといいですね。

先日パーゴラの所にトイレがあることを暗喩するための誘導サインを竹で作りました。ぜひご覧いただけると幸いです。

おじいちゃん 2022/03/10 16:00

竹の誘導サイン、良いですね。森と調和した感じで。訪れた際に見てみます。

おかりなや 2022/03/29 16:41

提案は「海が見える公園」にすることです。城址公園の駐車場手前に真鶴の海が見える所があります。散歩をすると、ここにたずんでじっと海を見ている観光客をよく見かけます。真鶴の公園を訪ねる人にとって、海が見えることが何と云っても第一の必須条件ではないでしょうか。もちろん地元の住民にとっても、公園に行けば海が見えるというのは自分たちの公園であることを認識する大切な条件だと思います。海がきれいに見える場所を作るためには、樹木の伐採が必要ですし、地面の高低差が激しいので、吊り橋なんかも検討したら良いと思います。

タイガー 2022/04/17 16:43

駐車場手前の海が見える坂道、私も気に入っています。たしかに、高い場所にあるのに景色が見えないのもったいないなあと感じていました。公園の高さを生かして海が展望できる場所ができると、いろんな人が訪れるきっかけになりそうですね！

「遊具を使わずに遊べるアイデア」募集ページへの投稿

「トイレの雰囲気を明るくし、安心して使えるようにするアイデア」募集ページへの投稿

意見・アイデア募集 すべての提案を見る (4)



【募集中！】すぐにでもみんなのできる環境改善のアクションを募集！

特設サイト事務局

2021年に開催した公園ワークショップで、「町民参加で掃除をしたい」「パークボランティアなど、手伝えることがあればやっていきたい」など、町民参加で公園の環境を改善していきたいという声を多数いただきました。

作成日時 2022/02/16

4件のコメント 2件のいいね

投稿を見る



【募集中！】トイレの雰囲気を明るくし、安心して使えるようにするアイデアを募集！

特設サイト事務局

2021年に開催した公園ワークショップで多数の声があがった、荒井城址公園の公衆トイレ。「トイレの雰囲気が暗くて怖い」「入り口が暗くて入りにくい」そんな状況を少しずつ改善していくために、みなさんか...

作成日時 2022/02/16

6件のコメント 9件のいいね

投稿を見る



【開催報告】1/29 ナッジワークショップを開催しました

特設サイト事務局

1/29（土）に、オンラインでナッジワークショップを開催しました！講座の内容と、参加者によるワークショップ結果を報告します。1.ナッジとは？人の意思決定の特性を活用し、様々なアイデアと工夫で、...

作成日時 2022/02/16

0件のコメント 3件のいいね

投稿を見る



【募集中！】遊具がなくても遊べる公園遊びアイデア募集！

特設サイト事務局

2021年に開催した公園ワークショップで、「工夫次第で遊べる公園だと思う」「せっかく広いスペースがあるので、子どもたちが楽しめる工夫をしてほしい」など、いまあるスペースを活かした遊び場としての可...

作成日時 2022/02/16

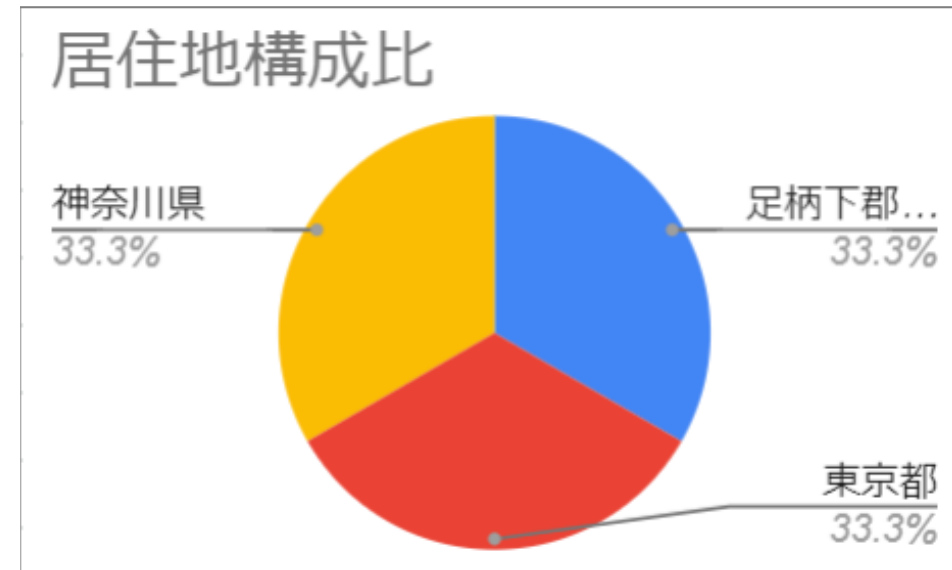
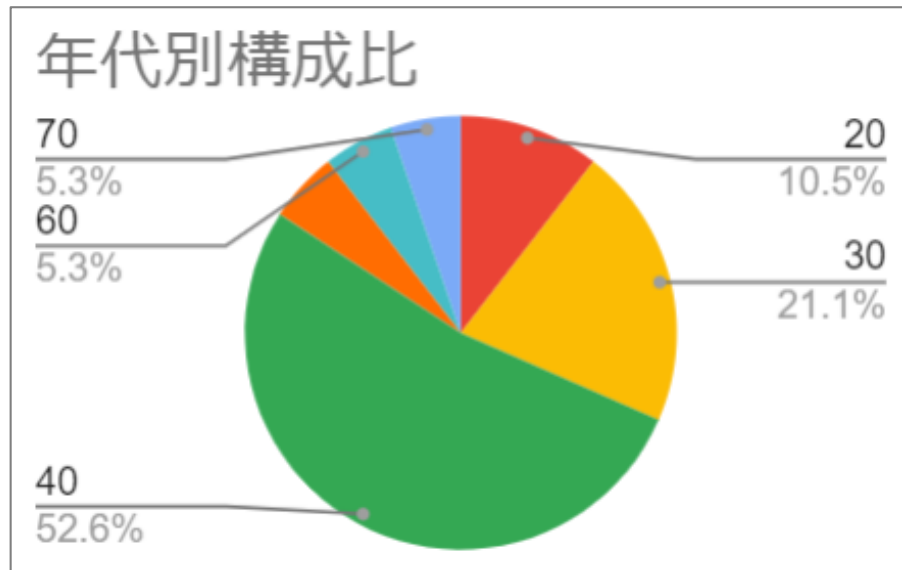
3件のコメント 10件のいいね

投稿を見る

- 投稿数25件。総リアクション数209件(コメント、いいね)
- ユニークな閲覧ユーザー数約1,200名。(参考:真鶴町の人口7,000人)

総閲覧ページ数約6,000ページ。

- コアユーザーは20代~40代が80%以上を占め、若い世代の参画率が高い。
- 登録者の居住地については、真鶴町内、その他神奈川県内、都内、で1/3ずつを占めている。



- プロセスを可視化することでプロジェクト関係者以外からも協力を得られた。
- 複数の活動団体同士でのコミュニケーションが生まれ、連携して提案事業へ取り組んだ。
- 自律的に活動が進んだことで、行政側コーディネーターの調整負荷が削減された。

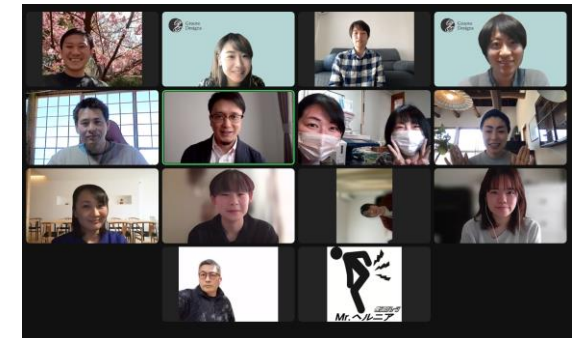


ご近所にすむ塗料会社の方から、小屋のDIYで使える塗料、子どもたちが安心して絵の具のように使える塗料を、ご寄付いただきました。。。！！

WS当日はいままでで一番の参加人数になり、今までこんなに人が居る荒井城址公園を見たことがあったかな。。と、公園で自由に過ごすいろんなご家族を見ながら、胸が熱くなりました。



サイト（プラットフォーム）を見ていたので、プロジェクトの状況は知っていた。  
自宅からも比較的近いので散歩コースで行っていたが、暗い、怖い、人がいない、というのをずっと感じていた。普通こういう改善はまちの予算でまち主導で、となることが多いと思うが、やる人に手を挙げてもらって実行まで繋げているのはすごいなと思い、やっている方には尊敬。



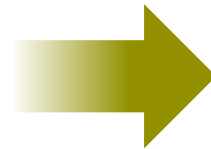
- 全体がちゃんとまとめられるというのはよかった。全貌が見える形にまとめられており、単なるイベントではないということが伝わりやすい。過去の経緯が見られるのも良い。
- このwebサイトあったら、全部纏まっているので一目でわかる。 Facebookだと流れてしまう。
- (活動団体のメンバーと)もともと友達で、活動していることはなんとなく知っていたが、どんな思いでやっているのか、どんなことをしているのかサイトを見てはじめて理解できた。
- プロジェクト実施中だけでなく、実施後も活動団体や町にとって、アーカイブとして残ることが財産となるのではないか。
- コロナで活動がなかなかできない中、こういうメディアがあることで、ワークショップができない中でも情報発信するメディアがあるのはありがたかった。



- 地域でのプラットフォーム活用は浸透するまである程度時間がかかる。
  - 初期フェーズにおいては、プラットフォームを通して分かりやすく情報発信し、取り組みの情報を浸透させていきつつ、いつでも参加できる状態をつくっておく。
  - 取り組みや、プラットフォームに対する認知を高めつつ、意見・アイデア募集などの投稿コンテンツを公開していくことで、情報の更新やリアクションを引き出すことにつなげる。

【間接的な参加】

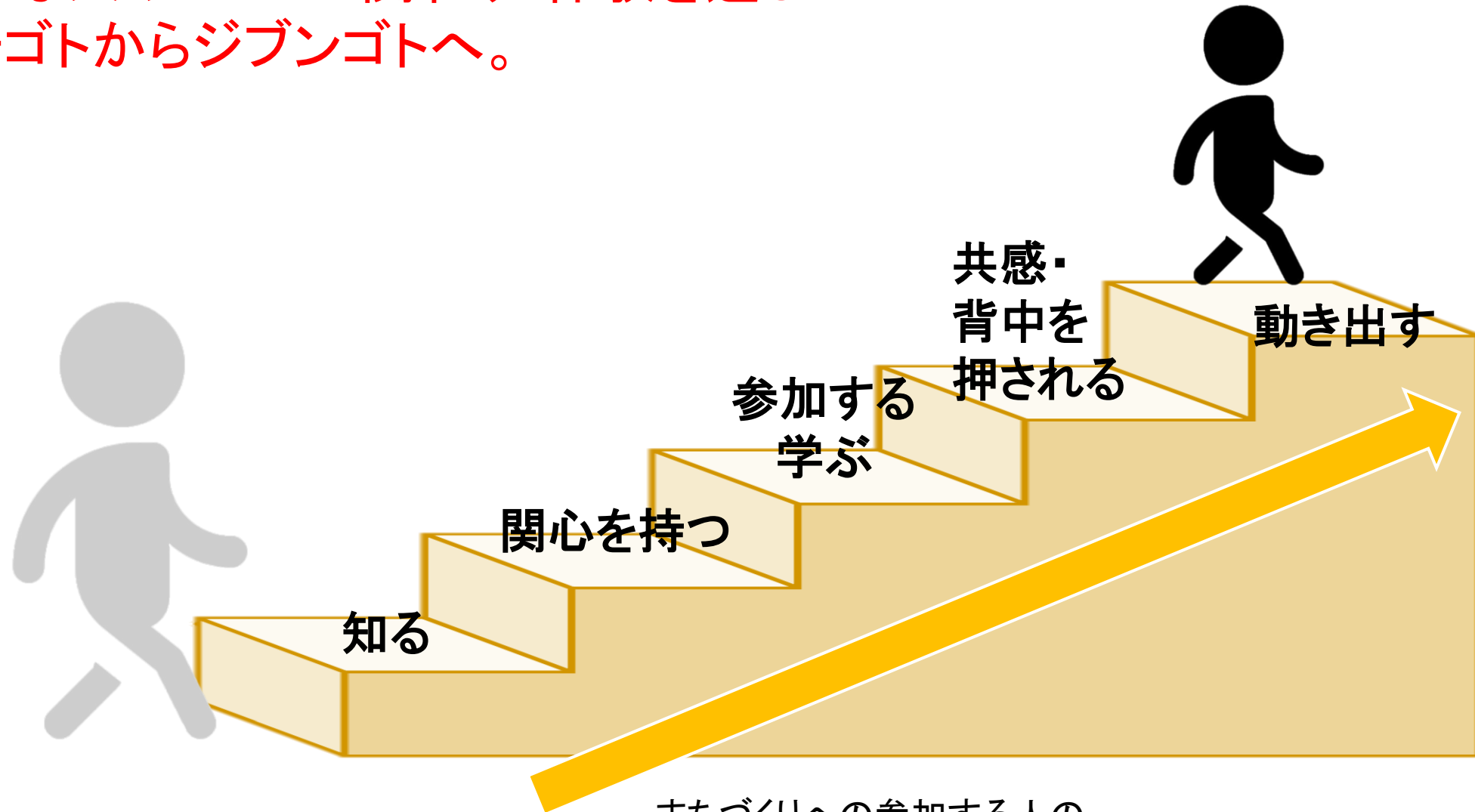
- ・サイトを見て情報を知る
- ・SNSでシェアする
- ・サイトで“いいね”リアクション



【直接的な参加】

- ・サイトに登録して投稿する
- ・実際の活動に参加する
- ・活動している人と仲間になる

様々な人やコトとの関わり・体験を通じて  
マチゴトからジブンゴトへ。

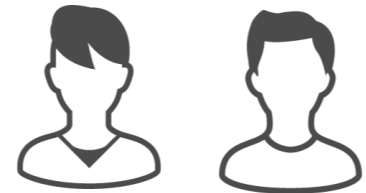


まちづくりへの参加する人の  
気持ちの変化・行動のステップアップをサポート

【企業の役割の重要性・実装のために求められること】



行政



市民  
(ユーザー)

協力関係



企業

課題解決、QOL向上  
のための技術提供  
・  
両者間のコーディネート